

# ひなたぼっこ新聞

2010.10.1

## 《夏祭り》

七月二十四日の土曜日にNPO法人いのちの応援舎の夏祭りが開かれました。

当日は、晴天に恵まれ、ひろばのお友だちと、その家族の方など総勢180名の参加がありました。また、デイサービスの利用者さんとその家族、助産院でお産をした方、近隣の方々なども遊びに来てくれて大盛況でした。



今年、よさこい踊りは《中部養護学校》さん、太鼓集団の《満天》さんを、お招きしました。踊りの時には、子どもたちも鳴子を手にして、一緒にリズムを取り、みんなで参加しました。その後の太鼓は、とても熱いパフォーマンス



スで圧巻でした。更に、太鼓の演技の後は、子どもたちにも太鼓をたたかせてくれて、大喜びでした。またバザーでは、いのちの応援舎《特製ハヤシライス》は、とても



も人気があり、みんなで舌鼓を打ちました。他には、パン、かき氷、ヨーヨーつりなどの販売がありました。



祭りのフィナーレは、おやこひろばスタッフによる、花火の打ち上げでした。ナイアガラ花火を皮切

りに、吹上花火、打ち上げ花火と続きました。ナイアガラは、有志のお父さんに、お手伝いを快く引き受けていただき、ありがとうございました。大きな音に、驚くお友だちがいるかなと心配していましたが、最後まで歓声をあげながら、花火を楽しんでもらえた事が、嬉しかったです。

## 《プール》

七月六日の火曜日にプール開きをしました。

今年の夏はとても暑く、晴天が続いたため、自由あそびの日は、できるだけプールを開いて、お友だちに楽しんでもらいました。

初めて、プールに入るお友だちが多く、水が怖くて泣いてしまった子どももいましたが、臆する事もなく、どんどん積極的に遊ぶ子どももいました。反応は様々でしたが、プールの後は、どの子ども、とてもさわやかな顔をしていました。



## 《おもちゃのお話》

九月十三日の月曜日、トウインクル・トウインクルの代表の西村さんをお招きして、おもちゃのお話の会を開きました。

子どもに、どんなふうにおもちゃを選んだり、与えたりしたら良いかなどを中心に、優しい語り口ででありましたが、とても熱い講演でした。

また、おもちゃに関連して、子育ての事についても、先輩お父さんとして、お話をして下さいました。特に、「おもちゃを含めて、買い物などの主導権を



子どもに渡さない」という話がありました。小さい時に、何でも自分が希望すれば、買ってもらえると、積み重ねるという体験を、思春期に

なった時、親が買って与えたくない物が出てきた時、「それは買えない」と反対すると、親子関係がおかしくなるという話は、とても説得力がありました。小さい時の子育ては、重要ですね。子どもたちは、たくさんのおもちゃを貸してもらい、大満足でした。

## 《わらべ歌でもぼっ》

毎月第四火曜日に、お話の会の宮本さんに来ていただき、絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべ歌を通じて親子が触れ合えるような遊びの会を開催しています。

小さい子どもたちでも、十分楽しめる会で、毎回多くの親子が参加しています。おやこひろばが、初めてのお母さんや子どもさんたちにもお勧めの行事です。



## 《ひなたでお楽しみ》

ひなたぼっこは、助産院、デイサービス、病後児保育、おやこひろばという複合施設です。これは全国的にも例のない施設だそうです。その特長を生かして、毎月デイサービスのお年寄りとの交流を、大切にしています。

七月は、七夕祭りにちなんで短冊に願い事を書いて、一緒に飾りました。八月は、みんなで《うちわづくり》をしました。うちは、お土産にお家を持って帰りました。九月は、敬老の日という事で、お年寄りの顔写真と、メッセージ入りのメダルをプレゼントしました。五月には、子どもたちに、子どもの日のプレゼントを今年もいただいたので、そのお返しです。なかなか、おじいちゃん、おばあちゃんに会えない子どもたち、なかなか、お孫さんとふれあう機会が少ないお年寄り、いつも、交流行事には、双方の笑顔が輝いています。

